

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 防災啓発推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災企画係 電話番号：058-272-1111 (内3767)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,827 千円 (前年度予算額：5,827 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,827	0	0	0	0	0	0	0	5,827
要求額	5,827	0	0	0	0	0	0	0	5,827
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和2年度から5年間を計画期間とする第2期県強靱化計画では、昨今の災害の頻発化、激甚化を踏まえ、「自らの命は自らが守る」意識を醸成し、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図ることとしている。

被災経験のない県民にとって、災害リスクを我が事として認識することは難しく、特に県内では震度5以上の地震が50年以上発生していないため、各種媒体を活用し、県民の防災意識の向上を図る必要がある。

(2) 事業内容

小学生でも理解でき、家庭で取り組んでみようとさせるテーマで、防災啓発テレビ番組を制作する。

制作した番組は、各種防災講座や防災イベントでの上映、動画投稿サイトでの配信など、二次利用を含め、効果的に活用する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県民の防災意識向上のため県で負担する。

(4) 類似事業の有無

以下事業と連携し、効果的・効率的な事業実施を図る。

- ・防災教育推進費

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,827	防災啓発テレビ番組の制作・映像コンテンツ用加工
合計	5,827	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第2期県強靱化計画 第5章 強靱化の推進方針の3(10)「リスクコミュニケーション／防災教育・人材育成～自助・共助の底上げ～」において、「自らの命は自らが守る」意識を醸成し、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図る旨を規定。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県民の「自らの命は自らが守る」意識を醸成し、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
災害や緊急時の備えが出来ている人の割合	63%	91.9%	75%	75%	75%	123%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	風水害、地震等をテーマに3本の番組を作成し、番組内容を収録したDVDを市町村へ配布したほか、YouTubeでの動画配信を行った。令和2年度作成の番組映像は令和3年10月現在YouTubeで計約2400回視聴、計40件の高評価が付いている。
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 2	風水害の頻発化、激甚化や、近い将来に大規模地震の発生が危惧されていることを踏まえ、喫緊の必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	「災害や緊急時の備えが出来ている人の割合」は目標を達成したが、引き続き備えの質の向上を図っていく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 1	テレビ番組は、各種防災講座や防災イベントで上映するなど、二次利用を予定し、効果的に活用することとしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 若年層を中心にテレビ離れが指摘されていることから、いかに多くの県民に視聴いただけるかが課題であり、映像コンテンツ化して各種防災講座等で利用するなど、積極的な活用を図る必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民の生命を守るための防災啓発に係る事業であることから、継続して実施する必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	ぼうさいキャラバン (防災教育推進費) 【防災課】
組み合わせで実施する理由 や期待する効果 など	映像コンテンツ化したテレビ番組をイベントで上映することで、効果的な活用が図られる。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
